

# 6

## 卓球競技 実施要項

- 1 主催 大分県高等学校体育連盟
- 2 期 日 平成 30 年 6 月 2 日 ( 土 ) 開館 ～ 8 : 30 各校チーム対抗戦試合 A のオーダー提出  
 9 : 10 ～ 開始式  
 9 : 30 ～ ダブルス・決勝まで  
 各校チーム対抗戦 男女ともにベスト 16 校決定まで  
 6 月 3 日 ( 日 ) 9 : 00 ～ 各校チーム対抗戦 男女決勝まで  
 6 月 4 日 ( 月 ) 9 : 00 ～ シングルス決勝まで
- 3 場 所 別府市総合体育館「べっぴアリーナ」/サブ・アリーナ TEL 0977-21-2323
- 4 競技規則 (1) 現行の日本卓球ルール(平成29年6月1日改定)による。  
 (2) 服装は、日本卓球ルールの規定ユニフォームを着用し、背中に日本卓球協会指定のゼッケンを必ずつける。  
 (3) 引率責任者は、必ず当該校の教職員であること。  
 (4) アドバイスについて  
 ア. 各校チーム対抗戦では、当該校の校長が認め、日本卓球協会に登録し、申込書に記載した監督(登録ワッペンをつけた者) 1 名及び各校チーム対抗戦にエントリーした 8 名以内の選手とする。  
 イ. 個人戦(ダブルス・シングルス)は、上記の監督または本大会にエントリーしている選手のうち 1 名に限る。  
 ウ. 各支部専門委員から配布される「重要確認事項」を遵守すること。  
 (5) タイムアウトは、各校チーム対抗戦・個人戦ともに準々決勝より採用する。

- 5 競技種目 男女とも、各校チーム対抗戦・個人戦シングルス・個人戦ダブルスとする。
- 6 競技方法 (1) 各校チーム対抗戦は、トーナメント方式とベスト 4 による決勝リーグ戦をする。  
 個人戦はトーナメント方式・リーグ戦による。各試合とも 11 点 5 セットマッチとする。  
 (2) 各校チーム対抗戦は、男女とも 4 名以上 8 名以内でチームを構成する。ベンチに入るのはこの選手と監督 1 名となる。  
 (3) 各校チーム対抗戦は、4 ～ 6 名による 4 S 1 D の 5 試合 3 試合先取で決する。  
 (4) 各校チーム対抗戦の試合は、次の順位とする。ただし、1・2 番の選手同士で 3 番のダブルスは組めない。  
 (5) 試合球は本部が用意した日本卓球協会公認プラスチック球(40mm ホワイト)を使用する。  
 ( Nittaku ・ TSP ・ Butterfly の 3 種類を用意します。 )

順序	1	2	3	4	5
	S	S	D	S	S

- 7 参加資格 「大分県高等学校総合体育大会実施要項」の参加資格に準ずる。  
 外国籍選手については全国高体連卓球専門部内規の出場制限による。
- 8 参加制限 (1) 各校チーム対抗戦は、各校男女とも 1 チームとする。  
 (2) 各校チームは男女とも 4 名以上 8 名以内で構成する。  
 (3) 個人戦は、各支部予選を経て、出場権を得た選手とする。

支部選抜数		大分	別府	県北久大	県南豊肥	専門部推薦	合計
高校総体	男子	D	16	15	11	6	48
		S	38	19	25	15	112
	女子	D	12	13	6	7	38
		S	36	15	18	17	102

- 9 参加申込 下記 ア)、イ) とともに必着  
 ア) 申込用紙を高体連のホームページから入手し、平成30年5月9日(水) 12 : 00 までにExcelデータのまま送信する。  
 送信先 : 県立学校は「庁内連絡」(中津南高等学校 佐藤貴司)に添付による  
 : 私立学校はメール (satou-takashi2@oen.ed.jp) に添付による  
 イ) No6 様式に男・女を別紙で作成する。各 1 部印刷・捺印して、所定の学校一括申込みとする。

- 10 試合球 個人戦参加校は、大会使用球の負担をお願いします。大会当日の受付で納入してください。  
 負担金 【シングルス 1 人につき 150 円、ダブルス 1 組につき 300 円】

- 11 出場権の獲得 (1) 全国大会は、各校チーム対抗戦 1 位のチーム、個人ダブルス 1・2 位、同シングルス 1 ～ 4 位。  
 (2) 九州大会は、各校チーム対抗戦 1・2 位のチーム、個人ダブルス 1 ～ 4 位、同シングルス 1 ～ 5 位。

- 12 組合抽選 (1) 平成 30 年 5 月 18 日 ( 金 ) 9 時 ～ 17 時 高体連事務局会議室  
 (2) 組み合わせ抽選は、支部代表による専門委員会が抽選基準に基づいて行う。

- 13 連絡事項 (1) 各校チーム対抗戦の 2 回戦以降のオーダー用紙の提出は、対戦相手が決まり次第、直ちに提出すること。  
 (2) 各校チーム対抗戦においてコートを 2 台使用することもある。  
 (3) 監督及び選手の変更は、組合抽選までに所定の手続きを行うこと。それ以後の変更は認めない。  
 また、各校チーム対抗戦のエントリー追加についても申込み以降認めない。  
 (4) 個人戦の組み合わせは、男女ともに支部予選を通過した者の中から、下記の男子 16 名、女子 16 名の選手を専門部推薦選手としてシードする。ただし、ポイントの低い選手はシードしないこともある。  
 《専門部推薦選手》  
 男子 近藤 蓮・渡辺 龍介・猪俣 礼智・芦澤 慶音・後藤 秀虎・秋吉 隼(明豊)、河津 綾介・  
 長野 将大(別府溝部学園)、廣瀬 憲人・時枝 来・松浪 一樹・安藤 聖・江藤 恭昭・阿部 恵大(杵築)、  
 木許 怜(大分鶴崎)  
 女子 高橋 花・渡邊 寧々・立麻 望月・中國 涼花・渡邊 美紗・権藤 由希菜・宮田 保野花・石原 綾華・  
 中村 ラナ(明豊)、藤井 美緒・森田 万莉乃・石井 愛良・井手野 実央・畑中 咲為・谷川 友望(別府溝部学園)、  
 佐藤 友香(杵築)